

令和6年度第1回宮城県多文化共生推進審議会

令和6年度多文化共生推進事業

宮城県経済商工観光部 国際政策課

第4期多文化共生社会推進計画

基本理念

『多文化共生社会の実現により豊かで活力のある宮城へ』
—国籍、民族等の違いに関わらない県民の人権の尊重と社会参画—

基本方針

- ◆ 『多様な主体が活躍する地域づくり』 – 意識の壁の解消 –
- ◆ 『誰もが安心して暮らし続けることができる環境づくり』 – 言葉の壁の解消・生活の壁の解消

基本的な考え方

- ◆ 多様性を織り込んだ新たな地域文化の醸成を目指すとともに、誰もが暮らしやすい環境整備を進め、活気ある地域づくりを支える

施策の方向性

1 多様性を理解・尊重する共通認識の醸成

- (1)日本人県民に向けた理念啓発
- (2)外国人県民に対する日本及び地域の文化・慣習・制度等への理解促進
- (3)外国人材雇用企業や関係団体に向けた人権教育・多文化共生理念啓発
- (4)県・市町村職員等の関係部署における多様性を尊重する共通認識醸成

2 多様性を活かした地域の活性化

- (1)外国人県民の地域活動への参加促進
- (2)市民団体の活動に対する支援の充実
- (3)支援人材の発掘・育成

3 活用可能な情報収集の支援及び多言語に対応した情報の提供

- (1)やさしい日本語を用いた情報発信及びコミュニケーションの促進、関係機関への理念啓発
- (2)各種通訳サポーター等の活用促進
- (3)多言語による防災情報等の発信
- (4)DX推進による生活利便性の向上

4 多様な学習支援による地域社会への適応力向上

- (1)学習者に応じた日本語学習の支援及び日本語講座の充実
- (2)外国人の児童・生徒及びその保護者に対する支援の強化
- (3)ICTを用いた日本語教育モデルの構築

5 ライフステージに応じた生活支援の体制強化

- (1)相談体制の強化に向けた関係機関の連携、相談技術の向上等による支援体制強化
- (2)医療、出産、子育て等の支援に係る関係機関との連携等を通じた支援体制強化
- (3)DX推進による利便性向上【再掲】

6 就労支援の促進

- (1)事業者に対する外国人材受け入れに係る支援の充実
- (2)外国人材に対する県内定着に係る支援の充実

期間

令和6年度から令和10年度までの5年間

意識の壁の解消

1 多様性を理解・尊重する共通認識の醸成

(1) 日本人県民に向けた理念啓発	1 包括連携協定を締結している企業等と協力した啓発ツールの配布、県HPでの啓発強化 2 民生委員等向けの研修会を活用した多文化共生の理念に関する説明・情報提供
(2) 外国人県民に対する日本及び地域の文化・慣習・制度等への理解促進	3 生活オリエンテーション動画等の最新のツールを活用促進することで、生活ルール等の理解促進を図る 4 各警察署等と連携し外国人県民の安全な生活に必要な知識の普及を図る
(3) 外国人材雇用企業や関係団体に向けた人権教育・多文化共生理念啓発	5 中小企業団体中央会、商工会議所等の事業者組織と連携した事業者向けセミナーの開催 6 国、弁護士会、JP - MIRAI、関係機関と連携した人権の尊重に関する意識醸成
(4) 県・市町村等の関係部署における多様性を尊重する共通認識の醸成	7 行政職員や関係機関へのやさしい日本語研修の実施、翻訳事例集等について市町村間の情報共有 8 地域が抱える課題やニーズを明確化し、他自治体の好事例を紹介する等して、伴走型で支援

令和6年度事業

- 1 多文化共生理念啓発動画の作成・放映
- 1 包括連携協定締結企業への「やさしい日本語リーフレット」の配布・配架依頼
- 2 中堅民生委員を対象とした「やさしい日本語啓発」の実施
- 5 宮城県中小企業団体中央会の理事を対象とした多文化共生理念啓発
- 7 県内市町村職員を対象とした「多文化共生研修会」の開催
- 7 総務省と連携した「多文化共生地域会議」の県内開催

1 多文化共生理念啓発動画の作成



ビジョン広告
(ライト側外野スタンド)



動画イメージ

概要

広く県民に多文化共生の理念を普及するための啓発動画を作成し、インターネット等で公表する。

2024年 9月1日、2日 VS オリックス戦
9月10日、11日 VS ヤクルト戦

放映時間帯は、およそ試合開始60分前から試合開始まで

内容

- 30秒程度の啓発動画を作成
- 市町村担当宛てに配布、各市町村ウェブサイトや窓口の電子公告等で放映楽天スタジアムでも放映予定（9月ホームゲーム）

9/1	9/2	9/3	9/4	9/5	9/6	9/7	9/8	9/9	9/10	9/11	9/12	9/13	9/14	9/15	9/16	9/17	9/18	9/19	9/20	9/21	9/22	9/23	9/24	9/25	9/26	9/27	9/28	9/29	9/30
対オリックス																													

8月6日
12月

- 1 「やさしい日本語リーフレット」の配布・配架依頼
- 2 中堅民生委員を対象とした「やさしい日本語研修」
- 5 宮城県中小企業団体中央会の理事を対象とした多文化共生理念啓発



概要

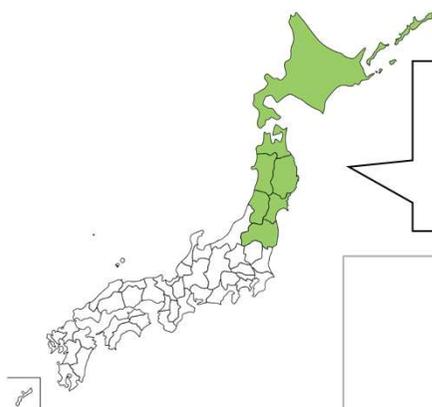
広く県民に多文化共生理念を周知するとともに、日本人側のコミュニケーション手段として有効となる「やさしい日本語」の普及・啓発する

内容

- ・やさしい日本語啓発リーフレットの作成配布・イオン12店舗への配架依頼
- ・8月6日に県社会福祉協議会が開催する中堅民生員研修会でやさしい日本語について普及啓発
- ・宮城県中小企業団体中央会の理事を対象とした多文化共生理念啓発 令和6年12月総会

7 多文化共生地域会議

7 火
/ 16



北海道・東北6県・札幌市・仙台市・県
内市町村の多文化共生担当課が参集範囲

ー地域日本語教育をどうする？ー

- 日本語教育の機能、役割の明確化
- 連携組織とそれぞれの機能の認識共有
- 外国人に日本語学習に取り組む意味づけの提示

日本語能力習得を社会が求めるのか？
外国人の希望に任せるか？
それによって体制・目標は異なる！

多文化コミュニティ構築を
地域日本語教育に
全部押し付けてはダメ！



(参考) 令和5年度資料

概要

総務省では、地域の国際化の推進に資するよう
「多文化共生地域会議」を毎年開催している。
令和6年度は宮城県が幹事県となり、**7月16日**に
県庁会議室で開催予定。

内容

- 参加者は総務省、関係省庁、(一財)自治体国際化協会、ブロック内の都道府県、市区町村、地域国際化協会等
- 「日本語教育を核とした多文化共生の地域づくり」をテーマに事例発表予定
(① 公立日本語学校について (県日本語学校準備担当) ② いわぬま日本語ひろば (JOCA東北))

意識の壁の解消

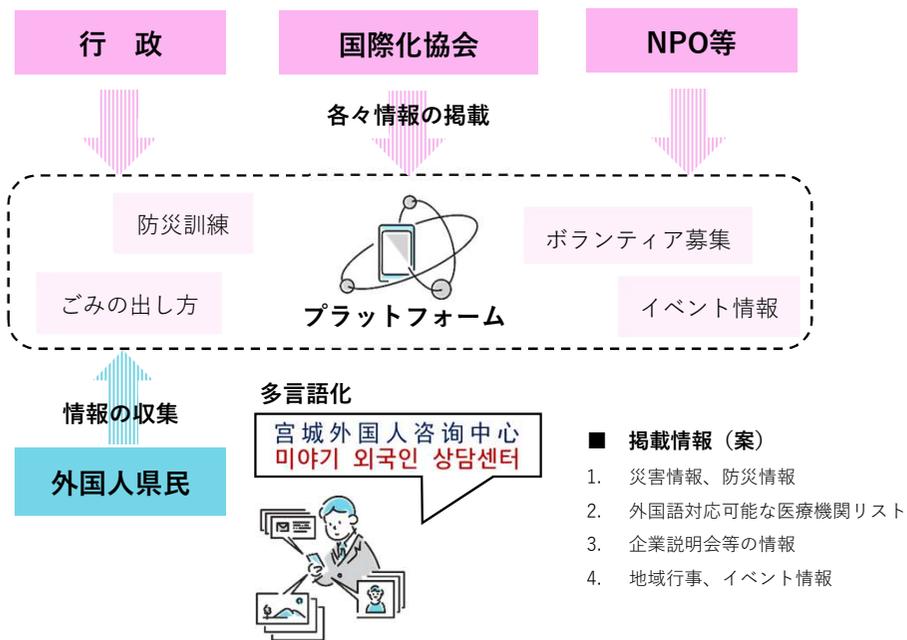
2 多様性を活かした地域の活性化

(1)外国人県民の地域活動への参加促進	9 地域行事等の情報をデジタルも活用しながらプラットフォーム等を整備し、外国人県民が取得しやすい方法で発信 10 外国人が参画する地域の課題解決手法を調査・研究し、市町村とともに事例を共有
(2)市民団体の活動に対する支援の充実	11 事業者や外国人支援を行うNPO等と課題共有を図り、外国人県民を含めた多様な主体による地域づくりを支援 12 市民団体に対して、各種関連団体が実施する補助制度を情報提供
(3)支援人材の発掘・育成	13 外国人政策等の課題を明確化し、その解決に必要な人材の発掘、育成を関係機関と協力して実施 14 多文化共生事業の円滑な実施のため、コミュニティリーダー等との連携を図る 15 研究等に従事する高度外国人材の専門知識の地域還元促進

令和6年度事業

- 9 情報発信プラットフォームの仕様検討
- 11・13・14 外国人県民支援ネットワーク構築事業
- 15 高度外国人材の知見活用に係る先進事例の視察等

9 情報発信プラットフォーム



概要

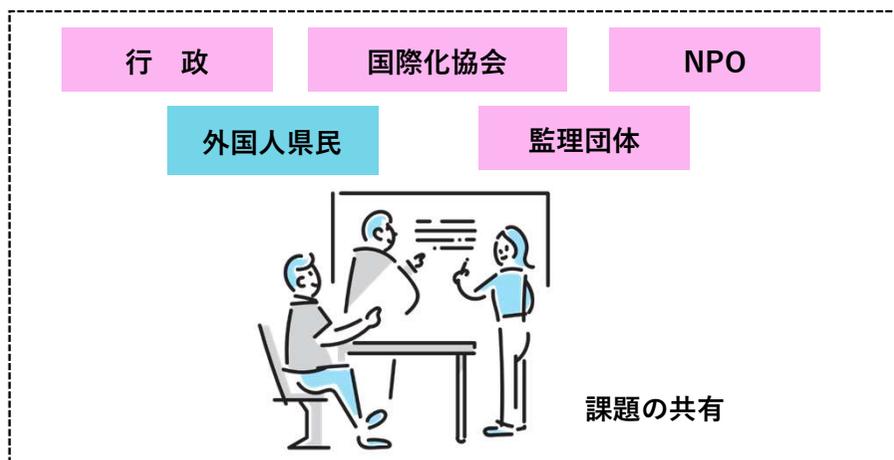
行政や国際化協会が発信する情報について、情報を集約したプラットフォームサイトを整備する。令和6年度は仕様検討。

内容

- 県、市町村、国際化協会、NPO等がそれぞれに情報を掲載できる。
- 閲覧者（外国人）は、ひとつのウェブサイトから各団体の情報にアクセスできる

11・13・14 外国人県民支援ネットワーク構築事業

9月



施策への反映、適切な役割分担

概要

行政のほかに多文化共生の推進を担う役割が期待されるNPO、外国人コミュニティリーダー、留学生、監理団体等と課題を共有する懇話会を開催

内容

- ・ 参集範囲は、地域国際化協会、NPO、外国人コミュニティリーダー、留学生、技能実習生、監理団体等を予定（5から6名程度）
- ・ 会で共有した課題について、次年度以降の施策へ反映、適切に役割分担を行い解決を目指す

言葉の壁の解消

3 活用可能な情報収集の支援及び多言語に対応した情報の提供

(1)やさしい日本語を用いた情報発信及びコミュニケーションの促進、 関係機関への意識啓発	16 民生委員のほか、事業者等に対する従業員同士の円滑なコミュニケーションを目的とした やさしい日本語セミナーの実施 17 「在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン」等国が推奨するやさしい日本語の手引書の活用
(2)各種通訳サポーター等の活用促進	18 特に保健福祉等の行政機関、医療機関等に対しての各種サポーター等の活用促進 19 国や自治体の新たな制度や通知等の情報提供による各種サポーター等のスキルアップ
(3)多言語による防災情報等の発信	20 県内市町村の防災アプリ等による災害情報発信の多言語化を促進 21 平常時の備えのための防災ハンドブック等のWEB配信
(4)DX推進による生活利便性の向上	22 在留外国人向けアプリの開発によるセグメント配信やプッシュ型配信等を通じた生活利便性向上 23 頻度の高い質問に対してあらかじめFAQを多言語で整備

令和6年度事業

- 16 包括連携協定締結企業への「やさしい日本語リーフレット」の配布・配架依頼【再掲】
- 16 中堅民生委員を対象とした「やさしい日本語啓発」の実施【再掲】
- 19 災害時通訳ボランティア整備事業
- 22 令和7年度マイナンバーカードと在留カードの一体化を見据えた仕様検討

19 災害時通訳ボランティア整備事業

概 要

県内で大規模災害が発生した際に、被災地からの要請に応じ速やかに通訳ボランティアを派遣できる体制整備を図る（MIA委託）

内 容

- 通訳ボランティアの確保・養成を行う（20言語に対応）
- 外国人県民が地域コミュニティの一員となることで、自助、共助による地域防災力が向上
- 9. 1 総合防災訓練へ通訳ボランティアが参加する方向で調整中



言葉の壁の解消

4 多様な学習支援による地域社会への適応力向上

(1)学習者に応じた日本語学習の支援及び日本語講座の充実	24 地域日本語教育コーディネーター数を引き上げ及び同コーディネーターの派遣による講座内容の充実 25 日本語教育支援者の確保及び育成 26 効果的、効率的な日本語教育体制構築のためのICT活用 27 公的関与の日本語学校の開設等を通じた日本語学習環境整備 28 日本人県民に対して日本語教育の理解促進のための情報発信
(2)外国人児童・生徒及びその保護者に対する支援の強化	29 県・市町村教育委員会によるアドバイザーやサポーター等の派遣、配置 30 保護者に対する通訳支援の活用
(3)ICTを用いた日本語教育モデルの構築	31 オンラインによる日本語教育モデルの構築及び横展開

令和6年度事業

- 24 地域日本語教育コーディネーター候補の把握（特にオンラインに関する手技について）
- 26・31 全県を対象としたオンライン日本語教室の開催
- 27 公的関与の日本語学校の開設準備

26・31 オンライン日本語教室の開催

【日本語講座開設状況】（12市町）

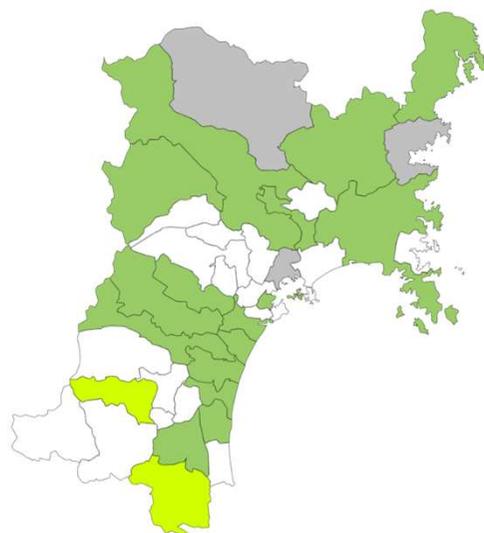
仙台市、石巻市、塩竈市、気仙沼市、名取市、角田市、岩沼市、登米市、大崎市、亶理町、加美町、美里町

休止中：栗原市、松島町、南三陸町

R5開設支援：丸森町、蔵王町



オンライン日本語講座（イメージ）



概要

時間的・地理的制約により地域日本語講座に通うことができない学習者に対して日本語学習の機会を提供する

内容

- 対象は県内全域に居住する外国人
- 就労者が参加しやすい時間帯を検討（平日夜間）
- まずは少人数・1レベル・短期コースから試行する

生活の壁の解消

5 ライフステージに応じた生活支援の体制強化

(1)相談体制等の強化に向けた関係機関の連携、相談技術の向上等による支援体制強化	32 外国人県民の相談窓口については、包括連携協定を締結している企業、中小企業団体中央会・商工会議所といった事業者組織及び地域コミュニティ等と協力することにより周知を強化 33 県、市町村の各担当部署、弁護士、行政書士等の専門家と適切な情報提供を行うことで、外国人からの相談に迅速に対応できるよう相互連携を促進し支援体制を強化 34 市町村職員に対して、相談技術など対応力の向上を図るための研修等を実施
(2)医療、出産、子育て等の支援に係る関係機関との連携等を通じた支援体制の強化	35 出産、子育て等に関する相談を受けた際に、相談センターが相談者の実情を適切に把握し、円滑に相談者と関係機関との調整を行う 36 市町村等が行う出産、子育て等に関する多言語による情報発信を支援 37 外国語対応可能な医療機関の検索サイト等の情報を積極的に周知
(3)DX推進による生活利便性の向上 【再掲】	38 言語翻訳機等を活用した多言語対応 39 在留外国人向けアプリの開発によるセグメント配信やプッシュ型配信等を通じた生活利便性向上

令和6年度事業

- 32 みやぎ外国人相談センターの設置・運営
- 32 外国人相談センター広報カードの作成・関係機関への配布による周知
- 35 特に外国人が増加することが見込まれる黒川郡を中心に医師会や医療機関への連携強化

32 みやぎ外国人相談センター

秋以降
拡充予定

がいこくじん そうだん (2023年作成)

みやぎ外国人相談センター

宮城外国人咨询中心
みやぎ 외국인 상담센터

Miyagi Support Center for Foreign Nationals
Miyagi Sanggunian Sentro para sa mga Dayuhan
Trung tâm tư vấn người ngoại quốc Miyagi
विदेशी नागरिकका लागिको परामर्श केन्द्र मियागी
Pusat Konsultasi Untuk Orang Asing Miyagi

毎日生活のなかで、困ったことがあったら、電話してください
If you encounter difficulties in your daily life, please contact the Miyagi Support Center for Foreign Nationals.

中国語 中文	韓国語 한국어	日本語を含む 13言語で 対応します	英語 English	タガログ語 Tagalog
ベトナム語 Tiếng Việt	ネパール語 नेपाली		インドネシア語 Bahasa Indonesia	ポルトガル語 Português
スペイン語 Español	ロシア語 русский язык		タイ語 ภาษาไทย	ヒンディー語 हिन्दी

TEL 022(275)9990

月曜日から金曜日 9:00~17:00 Monday - Friday 9:00a.m. - 5:00p.m.



概要

外国人県民やその家族の日常生活上の悩み解決を図るため、多言語相談窓口を設置・運営する。
(MIA委託)

内容

- 三者通話なども活用しながら13言語で対応
- 半導体工場従業員向けに相談員の増員、平日夜間・土日祝日の医療相談ダイヤル設置
- 工場周辺地域の医療機関との連携強化

生活の壁の解消

6 就労支援の促進

(1)事業者に対する外国人材の受入りに係る支援の充実

- 40 外国人県民の雇用に関して、先進的な取組を行っている企業をモデル企業として選定し取組を紹介
- 41 中長期インターンシップや企業訪問ツアー等を支援し、事業者と外国人材の相互理解を促進
- 42 中小企業団体中央会、商工会議所といった事業者組織と連携し、各業界の事業者に対し、外国人材の人権・労務問題等に関して啓発を実施

(2)外国人材に対する県内定着に係る支援の充実

- 43 県内で研究等に従事する高度外国人材に、その専門性を活かし、専門人材の育成に参画する等、地域の活性化に関しても活躍の場を広げる
- 44 外国人材が安心して県内で暮らしていけるような環境を整えるとともに、外国人材が積極的に地域との交流を促進していくような地域づくりを促す
- 45 外国人に選ばれる「みやぎ」をめざすため、暮らしやすさ等の魅力発信を多言語で行う

令和6年度事業

41 外国人材マッチング支援事業

外国人材高度化転換支援事業

42 宮城県中小企業団体中央会の理事を対象とした多文化共生理念啓発

44 半導体工場従業員の家族等を対象とした語学講座等の文化交流

41 外国人材マッチング支援事業

通年



概要

県内企業の外国人材活用・活躍をより一層促進していくため、国内外の外国人材と県内企業の相互理解と交流機会を創出し、外国人材の県内企業への就職につなげることで、県内産業の維持・活性化を図ることを目的として実施するもの

内容

企業等と外国人材のマッチング、企業相談窓口の運営、オンラインセミナーの開催、インターンシップ支援等

41 外国人材高度化転換支援事業



オンラインセミナー



Thanks Party

概 要

高度な技術を有し、かつ引き続き宮城県に在留を希望する技能実習生について、県内企業への就労を前提とした特定技能への転換を支援するもの

内 容

企業等へのアドバイザーの派遣、就業環境の改善や在留資格転換に資するセミナーの開催、技能実習生の在留資格の変更サポート、Thanks Partyの実施